

第2回三木市学校給食審議会 次第

日 時：令和7年6月20日（金）

午後7時から

会 場：教育センター4階中研修室

1 開会

2 議事

(1) 三木市学校給食費の改定について

3 まとめ

4 閉会

学校給食費の改定について

I 食材費高騰への対応

(1) 献立の工夫

対応内容	R 1	R 6
変わりパン（バタートップパン・りんごパン等）・混ぜご飯（わかめご飯・炊込みご飯）の回数	42 回	28 回
デザート・果物の回数	37 回	18 回
食材の変更	鶏もも肉	鶏むね肉
	牛肉	豚肉・鶏むね肉
	鮭	しいら・たら
	湯葉、おかひじき、三つ葉、パセリ等	使用しない

(2) 主食を変更した場合の試算

①精白米を減量した場合

	以前	現状（R7.4～）	更に 5 g 削減
精白米量（g） 小学校中学年	80	75（△5）	70（△10）
中学校	110	105（△5）	100（△10）
1 か月当たりの減額		32 円	64 円

※ 4 月の主食の残菜（1 人 1 日当たり）

小学生 ご飯 6.7 g（小さじ 1 強）（精白米量 3.0 g）

中学生 ご飯 12.6 g（大さじ 1 弱）（精白米量 5.7 g）

②主食（米飯・パン）の回数の変更

	現状	変更案	1 か月当たりの減額
米飯（回／週）	3.5	3.0	小学生 17 円
パン（回／週）	1.5	2.0	中学生 30 円

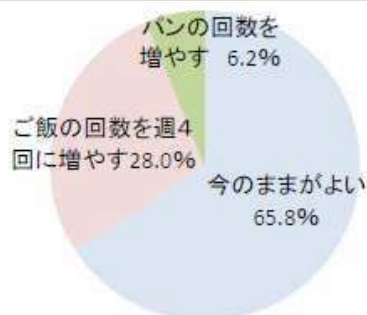
※兵庫県米飯回数：週平均：3.7 回（R5）

※アンケート結果

◆令和5年度 保護者アンケート結果抜粋

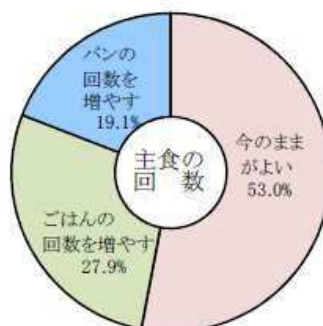
【質問7】主食の回数について、どう思われますか。（現行：週に米飯3.5回、パン1.5回）

米飯回数について「今のままがよい」という意見が66%と多く、次に「ご飯の回数を週4回に増やす」が28%となりました。このことから、米飯回数はこのままの回数でよいと考えます。



◆令和6年度 児童生徒アンケート結果抜粋

【質問8】主食の回数についてどう思いますか。（現行：週当り米飯3.5回、パン1.5回）



【学年別】

	小2年	小4年	小6年	中1年	中3年	計
今のままがよい	56.7	55.4	46.1	56.4	50.5	53.0
ごはんの回数を増やす	17.7	26.0	35.0	27.2	33.2	27.9
パンの回数を増やす	25.6	18.6	18.9	16.4	16.3	19.1
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
回答者数（人）	282	334	297	280	295	1,488

「今のまま（米飯週3.5回）がよい」が最も多い。小学校2年生だけが「パンの回数を増やす」の割合が高いが、他の学年は「ごはんの回数を増やす」の割合が高くなる。男女別で比較すると、男子の方が「ご飯の回数を増やす」の割合が高い。

※令和6年度学校給食審議会の答申

現在の米飯給食の実施回数は、週当たり3.5回、パン給食の回数は、1.5回となっています。また、今年度からパンの小麦粉を県産小麦粉に変更し、地産地消の促進ができていることや、日本型食生活のよさを園児・児童・生徒に伝えられるよう、主食は米飯を基本としつつも、週に1～2回は、パンを取り入れることが献立の多様化に繋がることから、現状の回数が望ましいと考えます。

2 学校給食費の改定案について

学校給食費の改定は、学校給食の質・量・水準を確保することを目的とする。学校給食費は、食材費と同額とする。

消費者物価指数の食料の5月分は124.4となり、1年間に5.6%上昇している。

【案1：物価高騰分6%増額】

令和7年度食材費から1年間分の物価上昇率6%分を増額
(改定率：約19%)

	R7給食費 (日額)	R7食材費 (日額)	R8食材費 (日額)	R8月額
小学校給食費	272円	305円	324円 (+52)	5,450円 (+875)
中学校給食費	310円	348円	370円 (+60)	5,720円 (+930)

【案2：物価高騰分6%増額し、さらに副食・デザート類を充実】

【案1】の物価高騰分に加え、副食、デザート類を令和元年度水準に戻すため増額

(改定率：約23%) 案1よりも小学校10円 中学校13円増額

	R7給食費 (日額)	R7食材費 (日額)	R8食材費 (日額)	R8月額
小学校給食費	272円	305円	334円 (+62)	5,620円 (+1,045)
中学校給食費	310円	348円	383円 (+73)	5,920円 (+1,130)

【案 3：物価高騰分 5%増額】

令和 7 年度食材費から 1 年間分の物価上昇率 5%分を増額
(改定率：約 18%)

	R 7 給食費 (月額)	R 7 食材費 (月額)	R 8 食材費 (月額)	R 8 月額
小学校給食費	272 円	305 円	320 円 (+48)	5,380 円 (+805)
中学校給食費	310 円	348 円	365 円 (+55)	5,640 円 (+850)

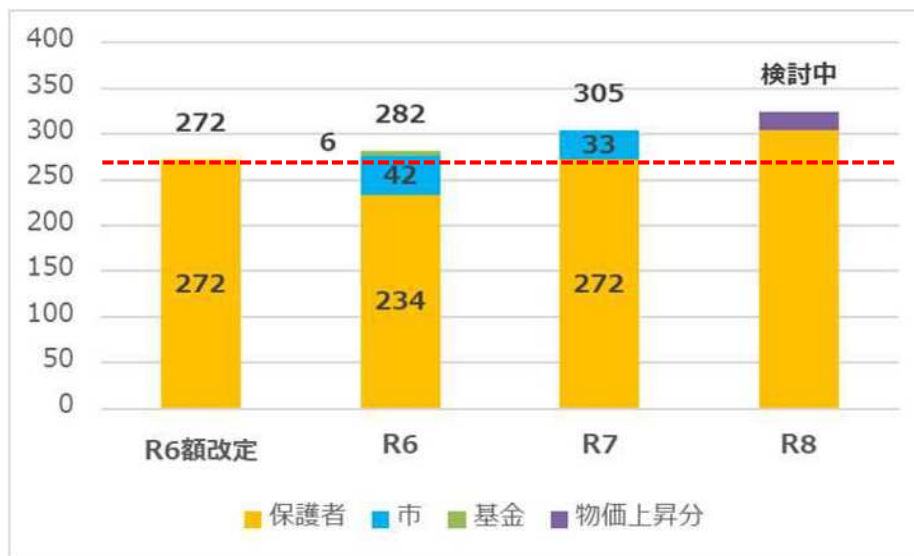
【案 4：物価高騰分 5%増額し、さらに副食・デザート類を充実】

【案 3】の物価高騰分に加え、副食、デザート類を令和元年度水準に戻すため増額

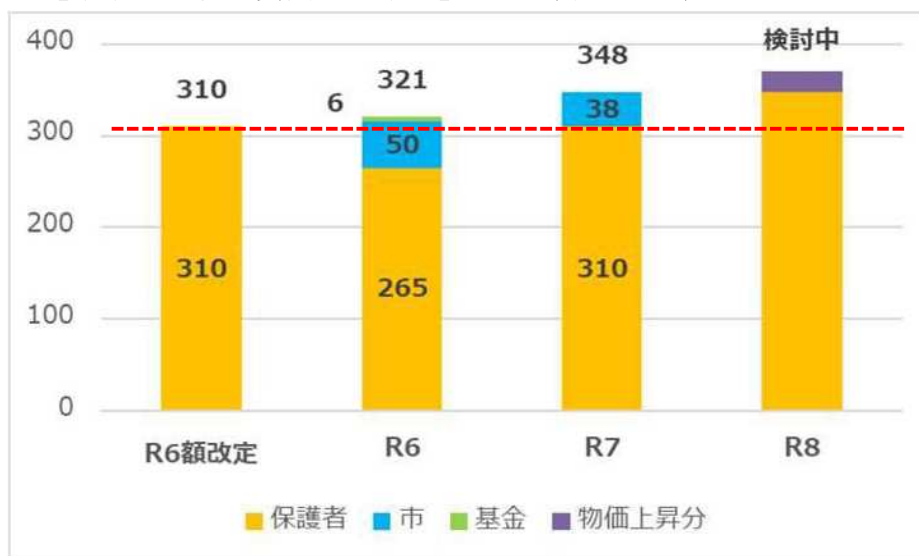
(改定率：約 22%) 案 3 よりも小学校 10 円 中学校 13 円増額

	R 7 給食費 (月額)	R 7 食材費 (月額)	R 8 食材費 (月額)	R 8 月額
小学校給食費	272 円	305 円	330 円 (+58)	5,550 円 (+975)
中学校給食費	310 円	348 円	378 円 (+68)	5,840 円 (+1,050)

【小学校の食材費負担の推移】 (単位：円)



【中学校の食材費負担の推移】 (単位：円)



3 給食費改定の間隔について

令和9年度以降の物価上昇率は見込めず、令和8年度のみ算定額となっているため、毎年、改定についての検討が必要となる。

4 残菜量について

コロナ禍以降、増加し続けていたが、令和6年度は若干、中学校が減少傾向である。また、学校により差がある。

なお、学級閉鎖などで急遽、給食を食べていない場合についても含まれています。

(1) 小学校



(2) 中学校

